

高機能性流動化剤 フローリックFBH(含浸タイプ)

フローリックFBH(含浸タイプ)は、ベースコンクリートの配(調)合を調整することなく、コンクリートを流動化することができる現場添加型の高機能性流動化剤です。

JIS A 6204(流動化剤標準形I種)に適合する特殊増粘剤一液タイプの流動化剤を含浸しており、ベースコンクリートを材料分離させることなく、流動化することができます。また、従来の流動化剤に比べ、大幅にスランプ保持性を改善しているため、夏期に施工されるコンクリートなどのスランプの低下対策に有効です。フローリックFBHを添加したコンクリートは可使用時間が長くなり、施工性の改善のみならず、締固め作業の低減、作業人員の削減などにも貢献できます。

特長

- ベースコンクリートの配(調)合を調整することなく、良好な性状の流動化コンクリートを製造することができます。
- 流動化後も良好なフレッシュコンクリート性状を維持します。
- 投入管理が容易です。
- フローリックFBHを用いた流動化コンクリートの耐久性は、ベースコンクリートと同等であり、耐久性に悪影響を及ぼしません。

物性



主成分	外観
ポリカルボン酸系化合物と界面活性剤系特殊増粘剤 および特殊吸水材の複合体	淡褐色半固形体*

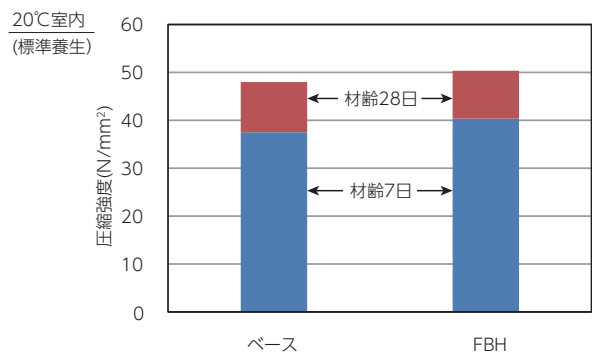
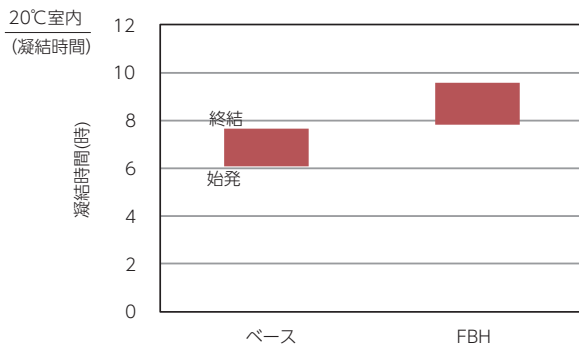
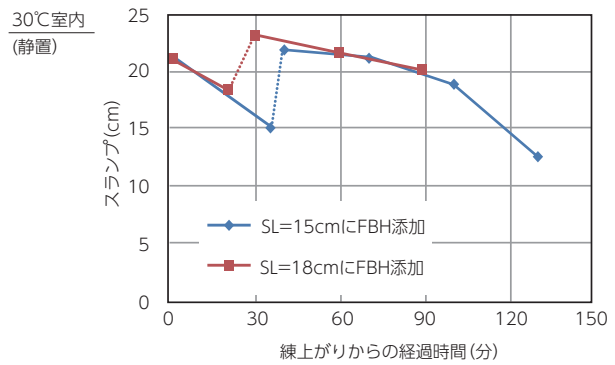
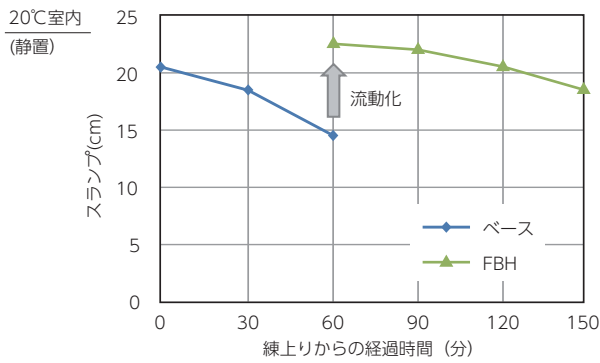
*フローリックFBHを特殊吸水材に含浸した混和剤

使用方法

- フローリックFBH(含浸タイプ)は、スランプ15~18cm程度のベースコンクリートに添加することによって、スランプ21~23cm程度(スランプフロー350~500mm程度)の流動化コンクリートを製造することができます。この時の標準使用量は、セメント質量に対して0.4wt%(セメント質量100kgに対して1包装)です。
- ベースコンクリートの状態、使用環境に応じて使用量を適切に調整してください。
- ベースコンクリートの状態・スランプ増大量によっては、材料分離を引き起こす場合があります。事前の試し練りにより、流動化コンクリートの状態を確認してください。
- トラックアジテータのドラム内へは、一か所に片寄らないように投入してください。
- トラックアジテータへの投入後、ドラムを中~高速で90~120秒程度回転させ、十分に攪拌し、5分程度静置させてから排出してください。

試験結果例

ベースコンクリート:W/C=50%, 単位粗骨材かさ容積0.67m³/m³, W=170kg/m³
 (使用材料:普通ポルトランドセメント, 掛川産陸砂, 青梅産碎石2005, 高性能AE減水剤 標準形)
 FBH:フローリックFBH(含浸タイプ);C×0.4wt%



使用上の注意

- フローリックFBH(含浸タイプ)は、1包装400g包となっています。必ず袋から中身を取り出して使用してください。空の包装袋は都道府県知事の許可を受けた専門の業者に委託して処分してください。
- 開封の際、少量の液体成分が分離している場合があります。製品に問題はありませんので固形部に浸み込ませてご使用ください。
- 1包装未満での使用の場合は、袋内でよく攪拌してから使用してください。
- 開封した製品は、速やかに使用してください。

取扱い上の注意

- 日のあたる場所や、高温の所に保管しないでください。
- 他の製品との混合は絶対に避けてください。
- 取扱いの際には、保護メガネ、保護手袋およびマスクなどの保護具を着用ください。
- 飲み込んだ場合には、直ちに吐き出し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合には、清水で洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 詳細は、当社の安全データシート(SDS)をご覧ください。

荷姿

- 25パック/箱(1パック:0.40kg)



日本製紙グループ

株式会社フローリック

ホームページ <http://www.flowric.co.jp/>

本社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-10-1 TEL 03-5960-6911 FAX 03-5960-6915

記載データは、標準的な材料を使用して行った試験結果です。使用材料、配(調)合および環境条件が異なる場合の状態を保証するものではありません。事前の試し練りなどで性能を確認することをお勧めします。